

# おさかな瓦版

No. 118

2024.3



およげいじゆつひん  
泳ぐ芸術品

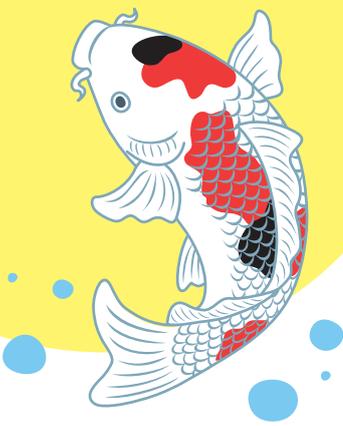
## ニシキゴイ



ふーちゃんのトピックス

ひんしゆかいりよう

品種改良って？



およ げい じゅつ ひん  
泳ぐ芸術品

# ニシキゴイ

## いろあざやかな観賞魚

飼って、見て、楽しむ魚を観賞魚といいますが、色鮮やかで美しいニシキゴイは、コイを品種改良した観賞魚です。今から200年くらい前に、新潟県中央部で養殖されていた食用のコイが突然変異したものを飼育したのがはじまりとされています。

それから品種改良を重ねて、紅白、大正三色、昭和三色（1）などの有名な品種が生まれ、現在では100種類以上あるといわれています（2）。体の大きさは1メートルを超えるものもあります。寿命は20～30年と長生きで、観賞魚として長く飼育できます。「泳ぐ芸術品」や「生きた宝石」とも例えられ、その価値はどん

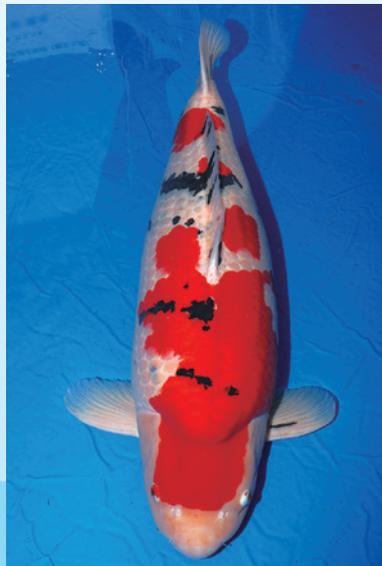
どん上がり、オークションで1匹2億円以上になったこともあります。

## 基本的なすべて養殖

ニシキゴイは基本的にすべて養殖されています。人の手で卵をふ化させて、育った親が産んだ卵を再び人の手で育てる養殖の技術が古くからあります。5～7月ごろに産卵させ、稚魚は数日（か）でふ化し、11月ごろまで屋外の稚魚の池で育てられます。

この間に色や形が良い魚だけを残す「選別」という作業が繰り返されます。一般的に2歳魚（ヒトの数え方だと1歳）まで残るニシキゴイは1パーセント以下になるそうです。

11月以降の寒い時期は屋内の池で冬を越し、



 1 ゆうめい ひんしゅ ひだり こうはく たいしょうさんしよく しょうわさんしよく  
有名な品種（左から紅白、大正三色、昭和三色★）



🐟2 いろいろな模様

春になったら稚魚の池よりも大きな池で飼育され、たくさん餌を食べて大きくなります。そして、翌年の10月に池から取り上げられて出荷されます。

ここからさらに選抜されたニシキゴイは、品評会に出品するために特別に育成されたり、この時点で出品されたりすることもあります(🐟3)。

**輸出額、年間200億円以上**

2000年代に海外でニシキゴイブームが起こり、たくさんのニシキゴイが輸出されるようになりました(🐟チェック)。1年間に輸出されている金額は合計200億円以上といわれ、輸出



🐟3 品評会のようす(★)

拡大に向けて農林水産省が選んだ「輸出重点品目」にもリストアップされています。

一方で、生きものを国内外に移動させると、病気を広げてしまう可能性があります。ニシキゴイの場合は、輸出前に検査されて、健康なニシキゴイだけが輸出できる仕組みになっています。ニシキゴイにもたくさんの病気があって、養殖や輸出の妨げになるこ

とがあります。私はその病気の予防法や治療法を確立する研究をしています。



やすもと しんや 安本 信哉



**海外での人気**

国内のニシキゴイ愛好家は高齢の方が多いため、国内向けの需要はほとんど伸びていません。一方で、海外では20代や30代の比較的若い人たちがニシキゴイを飼育し、需要が増えています。現地でも多くの品評会が開催されるようになり、人気はどんどん高まっています。



オランダでの品評会のようす(★)



# ふーちゃんのトピックス



なじみのあるものに  
使われている技術なのね

## 品種改良って？

品種改良とは、生きものの良い性質を持った個体を選んで、人にとって好ましい品種を作ることです。商品として見た目をきれいにしたり、味や食感を良くしたり、病気に強いものを作ったりするなど、いろいろな目的で行われます。イネやイチゴなど、特に農業でよく耳にする言葉ですが、観賞魚や食用魚でも行われています。

魚で一番多い品種改良の方法は、良い特徴を持つ親の魚から卵をとって受精させたり、人の手でオスとメスを一緒にして産卵させたりして、より良い特徴を持った子どもを作り出すという方法です。

ニシキゴイの場合は、色彩・模様・体型の良いものが品評会で評価されます。しかし、3つの要素がそろった良い親から生まれても、子どもには差が出ます。その中から選ばれて、さらに評価の高い特徴を持った子どもが、高い値段で取引されています。

### 品種改良で生まれた生き物たち

鑑賞する



オランダシシガシラ

羽毛を利用



アヒル

食べる



スイートコーン

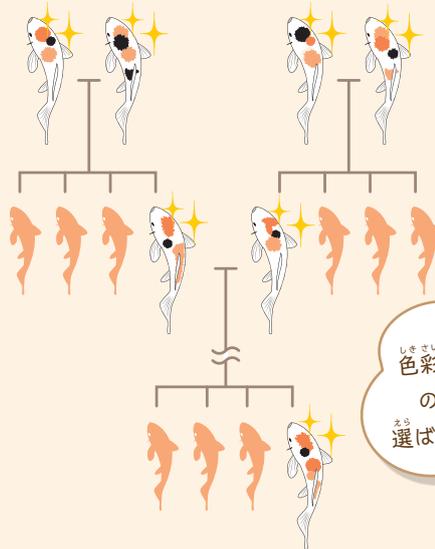
絹糸を利用



カイコ

(写真は品種改良されたカイコが作るまゆ)

### 品種改良のイメージ図



色彩、模様、体型  
の良いものが  
選ばれているんだね



ふーちゃんと



ふつくん

：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.118 (2024年3月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒221-8529 横浜みなとみ21区新浦島町一丁目1番地25

テクノウェイブ100 6階

TEL. 045-277-0136 (広報課) FAX. 045-277-0015

ウェブサイト <https://www.fra.go.jp/>

Facebook



Facebook <https://www.facebook.com/fra.go.jp>

X (旧Twitter)



X (旧Twitter) [https://twitter.com/fra\\_go\\_jp](https://twitter.com/fra_go_jp)

YouTube



YouTube <https://www.youtube.com/channel/UC1T1VadqC6P9vmHAUieAN9Q>

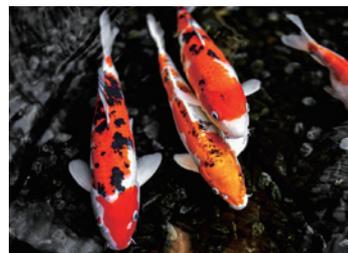
ふらっとらぼ

YouTube 新チャンネル!



ふらっとらぼ [https://www.youtube.com/channel/UCAdoIX5vmEOZrDH5I\\_ZFa5w](https://www.youtube.com/channel/UCAdoIX5vmEOZrDH5I_ZFa5w)

ひょうしゃしん  
表紙写真



色鮮やかなニシキゴイ

見てね!

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。